



coba

アコーディオン。土着と先進の深遠に挑む

アコーディオニストとして世界の頂点に立ち、作曲家としても活躍するcoba氏。演奏家としての原点は、「何でアコーディオンなの」という疑問への憤りだった。そして東日本大震災。演奏家はまた大きな転機を迎える。

そのポテンシャルの高さは、生命体のようだ

「何でアコーディオンなの」。小学校時代の同級生の驚き、進路指導での音楽教師の言葉、留学から帰国後に受けた新聞記者の質問。そのすべてが一本の糸でつながっていた。

自身もアコーディオンは好きな楽器ではなかった。音楽好きの父親の手ほどきで3歳からピアノを始めた。アコーディオンを弾く父親を見ると、「重くて、辛くて、ダサい楽器」に思えた。しかし父は、小学校4年生の誕生日プレゼントにアコーディオンをくれた。正直、困った感じだった。当時のアコーディオンは、伴奏のための楽器と見られ、ピアノのように奏者の主体性が無いのも嫌だった。

ただ、アコーディオンの高いポテンシャルには魅入られていた。「右手で旋律、左手で伴奏。蛇腹で空気を取り込みリードで音を生む。その多能さや仕組みはまるで生命体を扱っているようです」。

高校1年生の進路指導の時、「俺は何者なのか」と苦悶した。そうして確信に変わってきたのがアコーディオンへの思いだった。「ポテンシャルが高いからこそアタクが強い楽器の素晴らしさを誰も分かっていない。アコーディオンは伴奏のための道具なんかじゃない。俺が、その恨みを晴らす。醜いアヒルの子を白鳥にしてやる、



coba(こば)

本名:小林靖宏、1959年生まれ、長野県出身。伊ルチアーノ・ファンチェリ音楽院アコーディオン科を首席卒業。東洋人として初めてC.M.A世界アコーディオンコンクール第1位受賞。91年、初アルバム『シチリアの月の下』をリリース。日本レコード大賞特別賞受賞。95年よりビョークのワールドツアーに参加。以後も、世界各地でコンサートを開催。番組挿入曲やCM曲でも500以上の作品を持ち、映画『顔』では日本アカデミー賞音楽賞優秀賞を受賞。トレードマークのポーターシャツは、「アコーディオンの魅力を世界に伝えたのは、船乗りたちだった」という畏敬を込めてのもの。



最新アルバムは自身初のカバーアルバム
【cobacabada】
COCB-54133/2,800+TAX
日本コロムビア(株)

という16歳の決断でした」。

日本の音大にアコーディオンの専科はない。演奏教育でも生産量でも世界一の聖地、イタリアに渡り、音楽院を主席で卒業した。21歳の時、東洋人として初めてス界の最高峰のコンク世界アコーディオンコンクールで第1位を受賞。パロックからオリジナルまで音楽家としての広く深い素

養が求められるコンクールであった。「大学では、オールドスクールのすべてのキスを身につけることに全力を挙げました。新しいアートの挑もうとすればオールドスクールをなめてはいけません。好きなものは、歴史と型を徹底的に自分に刷り込んで、そのうえで壊すのです」。

ビョークと大震災。音楽の本質への旅

アコーディオンは、ポルカやタンゴなど民族音楽の演奏で多用されるが、自身としてはロック調の音楽と演奏を確立したいと考えていた。しかし、音楽探しどころか食べていくことすら難しかった。スタジオワークなどでのいざ時期を経て、95年からアイスランドの世界的な歌姫、ビョークのワールドツアーに参加。ロックバンドとの合奏に自信を深めた。

「私のコンサートの楽屋にビョーク自身を訪ねてきました。新しいアートを創りたいと願うミュージシャンたちは、思いを共有できる人間を常に探している。そんな幸せな出会いでした」。

91年に初アルバムを出した時、アコー

ディオンの誤解を解きたいと「伴奏はしない」「ソロ演奏はしない」「カバー曲は演奏しない」の3つのことを封印した。しかし20年後、その封印を解いた。きっかけは東日本大震災だった。

宮城県名取市での被災者支援のミニコンサート。同市は、「松島大漁節」の発祥地だ。演奏を終えると一人のお母が言った。「なんで大漁節をやらさない。ここに来てやらないのはダメだ。トマツシマアノと弾き出すと、避難所生活を送るお父たちが立ち上がって歌い出し、お母たちは手拍子で応える。ついには伏せていた大漁節の名人まで会場に駆けつけた」。

「これが音楽だ、と本質を突きつけられた思いでした。伴奏だろうが、カバー曲だろうが、人の魂である曲を届け、生きる力を生み出せないのであれば新しいアートもない。16歳の決断は、この日のためにあったのかと思いました」。

今後は、新しいスタイルのオペラとシヨバフオーマンズの2つをなんとしてみたいかと思っている。「夢は枯れ野をかけ廻る」の人生でいい。夢の本質に近づける体験ができればそれで十分です」。

Contents

02 スペシャル・インタビュー【先駆者たち】

coba

(アコーディオニスト・作曲家)

04 Special Feature

海から地球を守る 「K-ECOS」の貢献

09 時代を切り拓く【Epoch Maker】

JET SKI®

10 【TechnoBox】
「下水曝気用」磁気浮上式
高速電動機直結単段ターボプロ
川崎MAGターボ®

12 【川に見る・日本の四季】

山形から「夏」を追う

14 HOT TOPICS

【表紙】

疾走するJET SKI®

→詳しくは「Epoch maker」(9ページ)をご覧ください